

日野市環境情報センター(愛称かわせみ館)は環境に関する情報を収集・分析・発信するために、2005年7月に市民・事業者・学校・行政の協働で開設されました。

緑のトラストー 緑地保全のための募金活動にご協力をお願いしますー

日野市は水と緑に恵まれたまちです。この貴重な自然環境を次の世代に引き継ぐために、これまで市民と市が協働して、さまざまな取組みを行ってきました。特に百草地区では、地元の方々の協力によって多くの貴重な雑木林を保全し、現在も里山の景観が残されています。市ではこの地区に相続があった場合、雑木林相続面積の1/2を寄付、残りの1/2を国に物納し、後に市が買収するという方法を相続人のご好意で実施し、1993年以降、約10haの緑地の公有化を進めてきました。

しかし、市の財政危機により2005年に物納された土地(真堂が谷戸の緑地)の取得が困難になった状況を受けて、市内で環境の保全に取り組む市民団体が中心となり、2009年12月に「ひの緑のトラスト」が設立されました。

トラストでは、緑地の取得費用の一助とするために、市民の皆さんに募金への協力の呼びかけを行っています。いただいた募金は市の環境緑化基金に積立てられ、緑を保全する事業に使われます。ぜひ、皆さまのご協力をお願いいたします。

■ 申込み・問合せ先

＊ひの緑のトラスト事務局：かわせみ館（日野市環境情報センター）



秋の真堂が谷戸緑地

環境保全に取り組んでいる団体紹介 6 真堂が谷戸蛍の会

真堂が谷戸は、日野市の東側百草地区の最東端にある小さな里山です。20年以上前に、この谷戸に、蛍が生息していることが判明し、秘かに蛍の調査が続けられてきました。しかし、この地区付近も、ついに開発の波が押し寄せてきた危機感から、平成20年6月日本の蛍の第一人者である矢島稔先生をお招きし、蛍の講演会を開催し、その参加者を中心に、雑木林と蛍を保全するための「真堂が谷戸蛍の会」を立ち上げました。この小さな里山は、雑木林からの湧水だけで、カワナ、サワガニ、蛍などが細々と生息しており、一昨年には40坪ほどの田圃を復元し今、3回目の稲刈りが終わったところです。当会の目的は、蛍だけではなく、生物多様性を考慮した、保全活動と位置づけています。来年は日野市と一緒に「蛍の夕べ」を開催し、この貴重な環境を見て、守ることに挑戦したいと思います。雑木林で、汗をかき、楽しい日だった事に、喜びを感じるボランティア活動を目指しています。ぜひ一緒に活動しましょう！！連絡先 笹木 かわせみ館 ☎581-1164

★環境情報センターの取り組み紹介★

■ かわせみ館の図書をご利用ください

かわせみ館では、環境に関する図書や資料などを収集し、これらを整理・分析して市民の皆様と共有できるよう作業を進めており、市の特徴である水と緑に関する多くの本も揃えています。前号でご紹介した小倉センター長から寄贈された水関係の本以外にも、植物関係の図鑑や、園芸関係・造園関係の本が揃っています。

かわせみ館では、市民団体どんぐりクラブとの協働で、市内のほとんどの小学校へ出張授業に行っています。こども向けや環境学習の図書もありますので、先生方のご相談にもお応えしています。

この花はなんという花か、家に来る鳥の名前を知りたいなどのご質問もお寄せください。



真堂が谷戸蛍の会の活動の様子

太陽熱などの自然エネルギーを使う講座を実施しました

昨年の東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故を契機に、市民の皆さんも節電等の省エネに取り組まれたことと思います。かわせみ館職員も、ボランティア作業に参加したり、現地の現状を見るなどで被災地の復興に協力してきました。

かわせみ館ではエネルギーについての取組みとして、夏休みに環境セミナー「親子でソーラーエコ」を地域協働課と共催で行いました。講師は NHK テレビなどに出演されているエコライフ研究家高野達男さんで、エコライフ生活 30 年という筋金入りの講師の話に、参加された親子や市民の方は、エコなからしかたのヒントが得られたようです。

セミナーでは発泡スチロールを使った熱箱の製作を行いました。30 度の気温であれば箱の中は倍の 60 度ほどになり、水を入れた黒いアルミ缶を入れておけばお湯が作れ、パンケーキを焼くこともできます。

太陽光発電パネル 1 枚の、発電量 50W の手作りソーラーシステムも紹介され、停電時などに役立つ装置をいろいろ見ていただきました。このような小さな取組でも、多くの方が取り組めば大きな節電につながり非常時にも役立ちます。かわせみ館にセミナーで作った熱箱がありますのでご覧ください。その他にもモバイルソーラーユニットや水路で発電できる小水力発電の装置も展示してあります。



親子でソーラーエコの様子

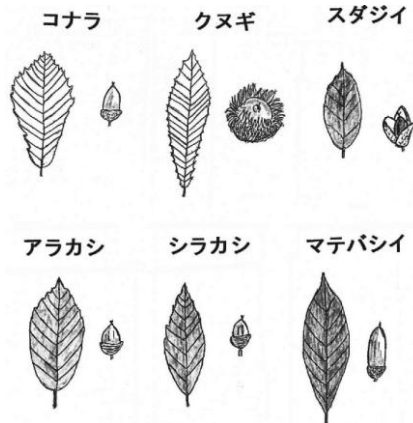
ドングリころころ・・・

秋は真っ盛り、市内の丘陵や緑地、公園に行くといろいろなドングリに出会いますので、身近にみられるドングリたちを紹介しましょう。

ドングリとは「ブナ科の樹木が作る果実」を言います。

国内には 22 種のドングリがあるようですが、日野市内でよく見かけるものを図に示しました。

かわせみ館近くの神明上第 6 緑地で、コナラ・クヌギ・アラカシ・シラカシが観察できます。



(落葉樹も常緑樹もあるので、葉を黒く示したのが常緑樹です。)

かわせみ館には魚が泳いでいるよ！！

清流が復活しつつある日野市の河川や用水に生息している魚たちが、かわせみ館にやって来ました。この魚は日野市の清流月間に展示してあった水槽のおさかなくん達です。8 種類の魚が元気に泳いでいますので、ぜひ来て見て、そして魚の名前を覚えてください。

(解説が貼ってあります)



** 行事・イベントのお知らせ **

■ みんなの環境セミナー

水の汚れと市民による水循環保全活動

- ・日時：11 月 29 日 (木) 午前 10 時～正午
- ・場所：日野市環境情報センター
- ・講師：東京農工大学名誉教授 小倉紀雄氏
- ・内容：水の汚れに対し市民はどのような活動をしたのか、その経緯について解説します。

■ 東京都農業用水シンポジウム

- ・日時：12 月 5 日 (水) 午後 1 時 30 分～4 時 30 分
- ・場所：立川女性総合センターアイムホール (立川駅北口)
- ・講師：日野市環境情報センター 笹木延吉他
- ・内容：農業用水の役割を再認識し、農家と共に農業用水を守り伝えるために地域住民ができることを模索する。

* いずれも申込制 問合せは、かわせみ館まで



発行：日野市環境情報センター

〒191-0011 東京都日野市日野本町 1-6-3

☎ 042-581-1164 (FAX 兼)

Eメール kankyo@m2.hinocatv.ne.jp

URL <http://www1.hinocatv.ne.jp/kankyo/>